

基本方針に基づく具体的な行動計画（令和6～9年度）

団体名	（株）札幌リゾート開発公社	所管課	経済観光局観光・MICE 推進部 観光・MICE 推進課 (TEL:011-211-2376)
------------	----------------------	------------	---

基本財産		1,020,000 千円			本市出資額		200,000 千円 (出資割合 19.6%)		
設立年月日		昭和 48 年(1973 年)6 月 28 日			出資年月日		昭和 48 年(1973 年)12 月 4 日		
沿革	昭和 48 年	設立							
	昭和 51 年	豊平峡電気自動車開業							
	昭和 53 年	札幌国際スキー場開業							
	昭和 57 年	ていねプール開業(札幌市受託業務)							
	昭和 60 年	定山溪温泉スポーツ公園開業							
	平成 13 年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務)							
	令和2年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)							
代表者		代表取締役社長(常勤) 熊谷 淳(市 OB)							
主な出資者	①	札幌市	19.6%	②	日本政策投資銀行	14.7%	③	JTB	11.5%
	④	日本カストディ銀行	5.8%	⑤			⑥		

団体の今後の在り方

設立・出資目的	(設立目的) 「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和 46 年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。 (出資目的) 自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を図ることを出資目的としている。				
事業内容 (主要なものから順に)	事業内容	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策 関係性	民間 代替性
「採算性」 「採算性(市補助等除く)」 「市施策関係性」 「民間代替性」 それぞれある・・・○ ない・・・× (市補助等がない場合・・・／)	スキー場事業	○	／	○	○
	豊平峡事業	○	／	○	○
	ていねプール事業	○	／	○	○
	藤野事業	○	／	○	○

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様が続いているかにも触れること。)	(1)団体の在り方、出資の在り方 本市では、定山溪地域の振興を重要な施策と位置づけ、平成 26 年度に「定山溪観光魅力アップ構想」を策定し、定山溪地区の振興に取り組んできたところ。 また、令和元年度からはスノーリゾートとしてのブランド化にも取り組んでおり、スノーリゾート推進に向けて、市内スキー場、関連事業者、関係団体、行政が一体となって取り組むための指針として「スノーリゾートシティ SAPPORO 推進戦略」を令和3年度に策定し、事業展開を行っている。 当該団体が実施している豊平峡ダムや札幌国際スキー場における事業は、これらの推進において大きな役割を果たしており、今後も、地域全体の理解・協力を得ながら、札幌市の観光施策をより一層進めていくに当たっては、公共性・公益性を持つ当該団体による積極的な事業展開が期待される。 一方、更なる発展のためには、定山溪地域への配慮や事業撤退リスクなども考慮しつつ、民間企業の資金やアイデアの活用を検討していく必要がある。 以上を踏まえ、当該団体の観光施策の推進を補完・代行する役割や経営状況、民間企業との連携可能性を鑑みながら、札幌市として一定の関与を残す必要があることから出資は継続する。 (2)経営の安定性や自立を高める方策 (1)を踏まえ、本団体が、出資目的を果たしていくためには、スキー場事業や豊平峡事業、藤野事業において、公共的な役割を果たしつつも多様な主体と連携を図ることで来場者数などを高めて効果的な成果を上げるとともに、時代の変化を踏まえた取組を積極的に進めていくべきと考える。 そのためには、他団体(施設)と比べた独自性の発揮に取り組んでいくべきであり、観光都市・札幌の魅力向上に資する積極的な事業展開を求めている。 なお、昨今の人件費や物件、光熱費高騰による管理者負担が増加することが想定されるため、契約手法の見直しや DX 導入による事務効率化を図ることによって、当面の支出軽減策も併せて進めていくよう求めている。
---	---

対象団体に対する今後の関与の在り方

1 出資・出捐

出資比率 (本市出資額/基本財産)	19.6% (200,000 千円/1,020,000 千円)
現在の出資比率にしている理由 (該当を■で塗りつぶす(複数回答可能)) 【株式会社】	☐ 他の出資者の状況に関わらず、団体全体の事業について市と連動した取組を団体に求めるなど、団体の経営権を取得するために、1/2 以上の出資比率が必要であるため(団体全体の事業について市と連動した取組を団体に求める必要性については下記備考欄に記載)。 ☐ 市長・副市長・教育長・公営企業管理者が役員に就任する必要がある、兼業禁止の観点で 1/2 以上の出資比率が必要であるため(役員に就任する必要性については下記備考欄に記載)。 ☐ 団体が、民間の代替性が低い公共サービスの提供を担う、または、市の施策との関係性が極めて高い事業を行うことから、持続的な運営を担保させるために、1/4 の出資比率を確保し、議会や監査などを含めた市のガバナンスを特に利かせる必要があるため。 ☒ 議会や監査委員などを含めたガバナンスは必要ないものの、市が最大の出資者であることや、団体収入に占める市からの財政的関与の割合が高いなど、公金の大きな支出先として適切な団体運営が可能となるよう、所管局が必要に応じて指導調整を行う必要があるため。

	☐ 現在の出資比率を維持する必要はないと考えているが、団体の現在の経営状況や株の譲渡の可能性から、現在保有している株式を売却することが困難であるため(具体的状況について下記備考欄に記載)。 ☐ その他(下記備考欄に記載)
備考欄 (上記選択についての補足を記載ください)	
今後の取組の方向性について	☒ 現在の出資比率を維持する必要がある、 ☐ 計画期間内に出資比率の引き下げを行う。 ☐ 計画期間内に出資比率の引き下げ時期を検討し、中長期的に引き下げを行う。

取組計画		出資の継続					
内容		令和5年度の経営状況は、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行したことを受け、その影響は少しずつ緩和され、国内観光需要及びインバウンド需要が回復基調で推移したため、来場者数及び売上高が前年より増加する結果となり、経営状況は回復傾向にある。 施設の更なる魅力向上や周辺地域を含む観光資源との周遊性の向上、定山溪温泉と連携した誘客促進など、札幌市の観光施策と連動した事業展開を通じて、当該団体が定山溪地域の活性化に貢献していくよう、今後も関与を継続する必要があることから出資は継続する。					
指標①		市出資金			(補足説明等)		
		5年度	6年度		7年度	8年度	9年度
現状値		200,000 千円 (出資比率19.6%)	目標値		200,000 千円 (出資比率19.6%)	200,000 千円 (出資比率19.6%)	200,000 千円 (出資比率19.6%)

2 人的関与

現在の人的関与状況(単位:人)						
常勤役員	現職	OB	常勤管理職	現職	OB	(参考)プロパー
	0	1		0	0	2
非常勤役員	1		常勤一般職	0	0	41

常勤管理職(現職)の状況

取組計画	最低限の人的関与の継続						
内容	札幌市と当該団体との密接な連携及び出資者としての経営責任の観点から、市職員の役員就任を通じた最低限の人的関与を継続するが、市職員の派遣は行わない。						
指標①	役員の就任数(取締役)			(補足説明等) 市職員の役員就任を継続する			
	現状値	5 年度	目 標 値	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度
		1		1	1	1	1

3 団体の活用（専門性等の発揮による市施策との連携等）

取組計画	札幌国際スキー場の利用者増						
内容	都市型リゾートとしての優位性を活かし、多様なアクティビティーに対応していくことで幅広い客層の獲得を目指す取組を実施するほか、秋・冬を通じて利用できる展望台の設置や、かまくらや雪遊びコーナーの設置など、山頂エリアの魅力アップ事業に取り組むとともに、定山溪温泉との周遊促進及び連携強化を図ることで、道内外からの誘客や家族連れなどの市民利用を促進し、来場者数の増加を目指す。 ※取組内容と団体の設立目的との関連性について以下に記載 上記の取組は、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興に寄与するものであることから、団体の設立目的に沿った取組である。						
指標①	札幌国際スキー場の来場者数			(補足説明等)			
	現状値	5年度 271,616 人	目標値	6年度 282,000	7年度 282,000	8年度 282,000	9年度 282,000
指標②	親子セット券の販売枚数			(補足説明等)			
	現状値	5年度 9,753	目標値	6年度 10,000	7年度 10,000	8年度 10,000	9年度 10,000

取組計画	豊平峡ダムを活用した定山溪地区の観光振興						
内容	豊平峡ダムの観光放流の迫力や自然景観の魅力を広く発信するとともに、施設周辺の美化や利便性向上に努めるほか、定山溪温泉との連携事業を実施することで、来場者数の増加と定山溪地域の観光振興を図る。 ※取組内容と団体の設立目的との関連性について以下に記載 上記の取組は、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興に寄与するものであることから、団体の設立目的に沿った取組である。						
指標①	豊平峡ダムの来場者数			(補足説明等)			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		62,040人		64,000	70,000	70,000	70,000
指標②	定山溪温泉街との連携事業(日帰り入浴パック)の利用者数			(補足説明等)			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		2,628		2,700	2,700	2,700	2,700

4 更なる経営の安定化

取組計画	札幌国際スキー場における収益基盤の強化						
内容	札幌国際スキー場における収益基盤をより強化するため、顧客ニーズに合ったパッケージ商品の販売やリフト券などのWEB販売の強化による非接触型のサービス拡充のほか、山頂撮影スポット設置やホームページの多言語化などのインバウンドの誘客強化を図り、誘客促進と客単価の引き上げにつなげる。 ※取組内容と団体の設立目的との関連性について以下に記載 上記の取組は、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備に寄与するものであることから、団体の設立目的に沿った取組である。						
指標①	国際スキー場パック券販売数			(補足説明等) 親子パック、ランチパック、日帰り温泉入浴パック販売数			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		29,034		30,500	30,500	30,500	30,500
指標②	消費単価の前年度比			(補足説明等)			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		4,938円		5,270	5,270	5,270	5,270

5 団体統制

取組計画	社員の資質向上						
内容	(現状の団体統制上の課題) 安全衛生・技術育成・不祥事防止・コンプライアンス等、業務に関連するシンポジウムや講座、研修への参加を促進し、社員の資質向上を図る。 (課題を踏まえた取組内容) 大きな事件・事故は発生していないことから引き続き取組を継続していく。						
指標①	研修等の延べ受講人数			(補足説明等)			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		102人		100人	100人	100人	100人

6 札幌市の施策との連動

取組計画	障がいのある方の自立支援						
内容	障害者就労施設からの物品調達や業務委託を継続して行う。						
指標①	障害者就労施設からの物品調達・業務委託件数			(補足説明等)			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		1件		2件	2件	2件	2件

取組計画	雇用の安定化への取組						
内容	職員の雇用安定化のため、勤務実績等を考慮しつつ、非正規職員から正規職員への登用を積極的に進める。						
指標①	非正規職員から正規職員への登用人数			(補足説明等)			
	現状値	5年度	目標値	6年度	7年度	8年度	9年度
		1人		2人	2人	2人	2人